

【FdData 中間期末：中学社会歴史：室町】

[\[建武の新政／南北朝の動乱・室町幕府／明・倭寇・勘合貿易／朝鮮国・琉球王国・蝦夷地／農業・商工業の発達／村の自治と土一揆／応仁の乱／国一揆・一向一揆／戦国大名／室町文化／総合問題／FdData 中間期末製品版のご案内\]](#)

[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) 掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

社会：[\[社会地理\]](#)，[\[社会歴史\]](#)，[\[社会公民\]](#) ((Shift)+左クリック)

理科：[\[理科 1 年\]](#)，[\[理科 2 年\]](#)，[\[理科 3 年\]](#) ((Shift)+左クリック)

数学：[\[数学 1 年\]](#)，[\[数学 2 年\]](#)，[\[数学 3 年\]](#) ((Shift)+左クリック)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】南北朝の動乱と室町幕府

【】建武の新政

[問題](前期期末)

鎌倉幕府をほろぼした後、後醍醐天皇は( X )の新政という天皇中心の新しい政治を始めた。しかし、貴族を重視する政策をとったため武士の不満が高まった。文中の X に適語を入れよ。

[解答欄]

[解答]建武

[解説]

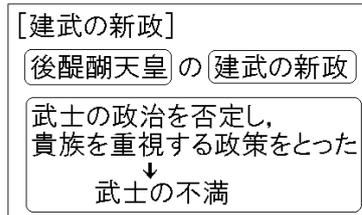
後醍醐天皇は、幕府に不満をもつ御家人や悪党を味方につけ、幕府をたおす戦いを起こし、1333年ついに鎌倉幕府をほろぼした。そして、後醍醐天皇を中心とする建武の新政が始められた。しかし、武士の政治を否定し、貴族を重視する政策をとったため武士の不満が高まった。新政の大事

な役には公家が多くあてられ、恩賞に不満を持つ武士も少なくなかった。また、税の軽減は行われず、戦乱による苦しみを考えずに宮殿の造営を考えるような政治の失敗もあいついだ。「このごろ都ではやっているものは、夜襲、強盗、にせの天皇の命令。…」という二条河原落書は、建武の新政による混乱を痛烈に批判したものである。

※出題頻度：「後醍醐天皇◎」「建武の新政◎」

「武士の政治を否定し、貴族を重視する政策をとったため武士の不満が高まった○」

(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)、○(出題頻度が高い)、△(ときどき出題される))



[問題](2 学期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

政治の実権を取りもどそうと考えていた( ① )天皇は、幕府に不満をもつ御家人や悪党を味方につけ、幕府をたおす戦いを起こし、1333 年ついに鎌倉幕府をほろぼした。そして、(①)天皇を中心とする政治が始められた。この政治のことを( ② )という。しかし、武士の政治を否定し、( ③ )を重視する政策をとったため、武士の不満が高まった。「このごろ都ではやっているものは、夜襲、強盗、にせの天皇の命令。…」という二条河原落書は、(②)による混乱を痛烈に批判したものである。(②)はわずか 2 年ほどでくずれ、南北朝の動乱をまねいた。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 後醍醐 ② 建武の新政 ③ 貴族(公家)

[問題](前期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉幕府をたおす中心になった天皇は誰か。
- (2) (1)の天皇の行った政治を何というか。
- (3) 「このごろ都ではやっているものは、夜襲、強盗、にせの天皇の命令。…」という政治や世の中の混乱を痛烈に批判した落書は何か。
- (4) (2)が 2 年ほどで失敗することになった理由を、「貴族」「不満」という語句を使って簡単に説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) 後醍醐天皇 (2) 建武の新政 (3) 二条河原落書 (4) 武士の政治を否定し、貴族を重視する政策をとったため武士の不満が高まったから。

【】 南北朝の動乱・室町幕府

[足利尊氏の挙兵]

[問題](2 学期中間改)

建武の新政に対する武家の不満が高まる中、( X )は武家の政治の復活を呼びかけて兵をあげた。(X)は京都で新しい天皇を立て(北朝)、後醍醐天皇は右図の吉野(奈良県)にのがれて南朝をおこした。(X)は 1338 年に北朝から征夷大將軍に任命されて京都に室町幕府を開いた。X にあてはまる人物名を書け。



[解答欄]

[解答]足利尊氏

[解説]

建武の新政に対する武士の不満が高まり、<sup>あしかがたか</sup>足利尊氏<sup>うじ</sup>が武士の政治の復活を呼びかけ兵をあげると、新政は 2 年ほどでくずれた。足利尊氏は京都に新たに天皇を立てた。これを<sup>ほくちょう</sup>北朝<sup>ごだいご</sup>という。後醍醐天皇は<sup>よしの</sup>吉野(奈良<sup>なんちょう</sup>県)に逃れたが、これを<sup>なんちょう</sup>南朝<sup>せい</sup>という。



[足利尊氏の挙兵・室町幕府]

1335年 足利尊氏 挙兵

1336年 尊氏、京都に天皇をたてる(北朝)  
後醍醐天皇、(吉野)に逃げる(南朝)

1338年 尊氏、北朝から征夷大將軍に  
任じられ、室町幕府を開く

足利尊氏は 1338 年に、北朝によって<sup>せい</sup>征夷大將軍<sup>むろまぢほくふ</sup>に任命されて、京都に<sup>むろまぢほくふ</sup>室町幕府を開いたが、幕府の支配力は弱く、このあと<sup>なんぼくちょう</sup>南北朝<sup>どうらん</sup>の動乱の時代が続くことになる。(將軍<sup>いさみはだ</sup>尊氏勇み肌(1338))

※出題頻度：「足利尊氏◎」「北朝△」「征夷大將軍△」「室町幕府△」「南朝△」「吉野○」

[問題](前期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

建武の新政に対する武士の不満が高まり、( ① )が武士の政治の復活を呼びかけて兵をあげると、新政は 2 年ほどでくずれた。(①)は京都に新たに天皇を立てた。これを北朝という。後醍醐天皇は( ② )(現在の奈良県)に逃れたが、これを南朝という。こうして、南北朝の 2 つの朝廷が生まれた。(①)は、1338 年に北朝から征夷大將軍に任命されて、京都に( ③ )幕府を開いた。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 足利尊氏 ② 吉野 ③ 室町

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 建武の新政に対する武士の不満が高まる中、武士の政治の復活を呼びかけて兵をあげた中心人物は誰か。
- (2) (1)の挙兵によって、後醍醐天皇はどこに逃れて朝廷をたてたか。①地名を答えよ。②また、右の地図中のア～カからその位置を選べ。③それは現在の何県にあるか。④この朝廷を何というか。漢字 2 字で答えよ。
- (3) (1)の人物は、京都に新しい天皇をたてたが、この朝廷を何というか。漢字 2 字で答えよ。
- (4) 1338 年、(1)の人物は(3)の朝廷から①何に任命されて、②何という幕府を開いたか。③その幕府が置かれた都市の名前を答えよ。④また、その位置を地図中のア～カから選べ。



[解答欄]

(1)	(2)①	②	③
④	(3)	(4)①	②
③	④		

[解答](1) 足利尊氏 (2)① 吉野 ② ウ ③ 奈良県 ④ 南朝 (3) 北朝  
 (4)① 征夷大將軍 ② 室町幕府 ③ 京都 ④ エ

[南北朝の動乱]

[問題](前期期末)

次の文章中の①, ②に適語を入れよ。

南朝と北朝は全国の武士に呼びかけて戦い、約 60 年間、動乱が続いた。この時代を( ① )時代という。この間、守護の多くは自分の領地を拡大し、( ② )に成長していった。14 世紀末には、各地での争いも少なくなり、1392 年、第 3 代將軍の足利義満のときに南北朝が統一された。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 南北朝 ② 守護大名

【解説】

足利尊氏が兵をあげた後、朝廷は北朝と南朝に分かれて争った。<sup>なんぼくちよう</sup>南北朝の動乱の続いた約60年を南北朝時代という。

この時代、<sup>そうぞく</sup>相続をめぐるそれぞれの武士一族内部の争いが激しくなっていた。一方が北朝方につくと、他方が南朝方について戦うという形で、戦乱を拡大させた。また、幕府

内部も2つに分かれて争い、内乱は果てるともなく続いた。南北朝の動乱のなかで足利尊氏は、味方になってもらいたい<sup>しゅご</sup>守護に<sup>しやうえん</sup>荘園の<sup>ねんぐ</sup>年貢の半分の徴収する権限を与えた。これをきっかけに、守護は国内の武士を家来にしていき、その国全体を支配する守護大名に成長していった。14世紀末、各地での争いも少なくなり、1392年、第3代将軍<sup>あしかがよしみつ</sup>足利義満が、南北朝を統一させ、約60年続いた南北朝の動乱は終わった。(いざ国(1392)を統合南北朝)

【南北朝の動乱】

南北朝時代：約60年続く

守護→守護大名

足利義満のとき南北朝を統一

※出題頻度：「南北朝時代○」「約60年間△」「守護→守護大名○」「足利義満○」

【問題】(3学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 北朝と南朝の2つの朝廷は全国の武士に呼びかけて戦い、動乱の時代が続いた。この時代を何というか。
- (2) (1)の動乱の時代は約何年間続いたか。次の[ ]から選べ。  
[ 40年 60年 80年 100年 ]
- (3) (1)の動乱の中、幕府は守護に荘園の年貢の半分の徴収する権限を与えたため、守護は多くの荘園を自分の領地とし、国内の武士を家来として従えるようになった。このような守護を何というか。
- (4) 1392年に南北朝は統一されたが、そのときの将軍は誰か。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

【解答】(1) 南北朝時代 (2) 60年 (3) 守護大名 (4) 足利義満

【問題】(後期期末)

建武の新政～南北朝の争乱の時代について述べたものとして、あてはまらないものを次のア～エから1つ選べ。

- ア 公家だけを重んじる後醍醐天皇の政治は、武士たちの反発を強めた。
- イ 京都の北朝と吉野の南朝に分かれた内乱が、60年近く続いた。
- ウ 軍事・警察権だけでなく、荘園の年貢を半分得る権利も幕府から認められ、地方の守護が力を強めた。
- エ 国司に代わり、地頭がその国を自分の領地として支配するようになった。

[解答欄]

[解答]エ

[問題](前期期末)

次のア～エを年代の古い順に並び替えよ。

- ア 足利尊氏が征夷大將軍になる。
- イ 建武の新政が始まる。
- ウ 後醍醐天皇が吉野にのがれる。
- エ 南北朝の動乱が終わる。

[解答欄]

[解答]イ→ウ→ア→エ

[室町幕府の組織]

[問題](3 学期)

室町幕府において、將軍の補佐役として置かれた右図 X の役職を何というか。

[解答欄]

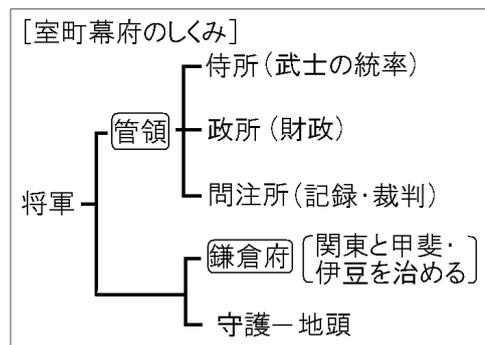
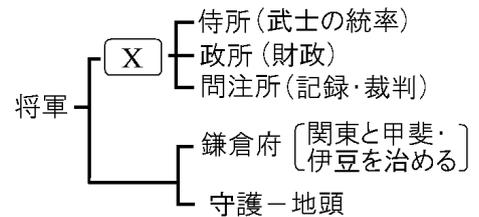
[解答]管領

[解説]

管領かんれいは將軍ほを補佐する役職で、侍所さむらいどころ(武士の統率)・政所まんどころ(財政)・問注所もんちゅうじょ(記録・裁判)を統括した。管領には有力な守護大名が交代で任命された。鎌倉には地方機関として鎌倉府かまくらふが置かれ、足利氏の一族が鎌倉公方くぼうになって関東を支配した。鎌倉公方は、次第に独立した勢いを示すようになり、京都の幕府と対立していった。なお、鎌倉幕府の六波羅探題に相当する役所は設置されていないが、それは、幕府が京都にあり、直接朝廷を監視できたからである。

第3代將軍あしかがよしみつ足利義満は、京都の室町ごしよに御所を建てて政治を行った。足利氏の幕府を室町幕府と呼ぶのはこの室町という地名むらいに由来している。

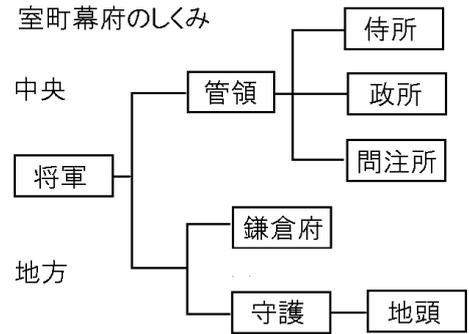
※出題頻度：「管領◎」「鎌倉府○」



[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 室町幕府において、将軍の補佐役としておかれた職は何か。右図の中から選べ。
- (2) 関東の地域を支配するために、地方機関としておかれたのは何という役所か。右図から選べ。
- (3) 鎌倉幕府は承久の乱に勝利した後、六波羅探題を設置して朝廷を監視させた。しかし、室町幕府には朝廷を監視する役所が設置されていない。その理由を室町幕府の所在地に注目して簡単に説明せよ。



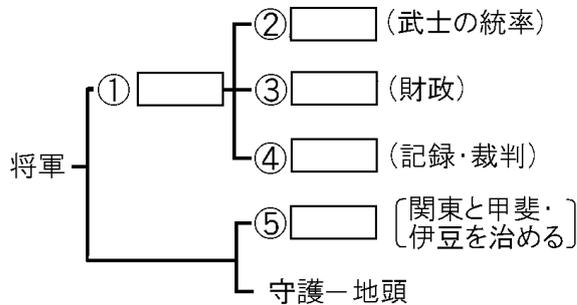
[解答欄]

(1)	(2)	
(3)		

[解答](1) 管領 (2) 鎌倉府 (3) 幕府が京都にあり、直接朝廷を監視できたから。

[問題](1 学期中間)

次の図は室町幕府のしくみを表している。図中の①～⑤にあてはまる語句を書け。



[解答欄]

①	②	③	④
⑤			

[解答]① 管領 ② 侍所 ③ 政所 ④ 問注所 ⑤ 鎌倉府

【】 東アジアとの交流

【】 明・倭寇・勘合貿易

[明と倭寇]

[問題](2学期中間改)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

14世紀，中国で元がおとろえ，日本で南北朝の動乱で幕府の支配力が弱くなっていた時期，西日本の武士や商人や漁民の中には，中国や朝鮮の沿岸部で貿易を行い，貿易が認められないときは海賊となって暴れ回り，略奪を行う者が現れ，( ① )と呼ばれていた。1368年，中国では漢民族が( ② )を建国し，モンゴル民族を北に退けた。(②)は(①)のとりしまりを日本に求めてきたが，日本国内は南北朝動乱の末期で，これに対応できなかった。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 倭寇 ② 明

[解説]

14世紀，中国では元がおとろえ，日本では南北朝の動乱で幕府の支配力が弱くなり，朝鮮では高麗が倒され朝鮮国が建てられた。このように，東アジアの各国の国内情勢が不安定になっていた時期に倭寇の活動がさかんになった。倭寇とは，い き つしま ひぜんまつうら 壱岐・対馬・肥前松浦のどごう 土豪・商人・漁民を中心に朝鮮人も加わった武装商人団で，ふだんは，中国や朝鮮の沿岸部で貿易を行い，貿易が認められないときは海賊となって暴れ回り，りやくだつ 略奪を行った。1368年，中国では漢民族が明を建国し，モンゴル民族を北に退けた。明は倭寇のとりしまりを日本に求めてきたが，日本国内は南北朝動乱の末期で，これに対応できなかった。

[明と倭寇]  
14世紀の中国：元→明  
倭寇の活動



※出題頻度：「元→明○」「倭寇○」

[問題](後期期末)

次の各問いに答えよ。

- 14世紀，中国では( ① )がおとろえ，漢民族が( ② )を建国し，モンゴル民族を北に退けた。①，②にあてはまる王朝名を答えよ。
- (1)のころ，日本から集団で朝鮮や中国にわたり，貿易を強要し，海賊として活動する者があらわれたが，その者たちは何と呼ばれていたか。

[解答欄]

(1)①	②	(2)
------	---	-----

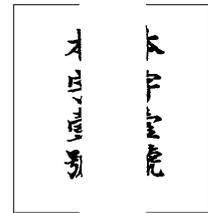
[解答](1)① 元 ② 明 (2) 倭寇

[日明貿易(勘合貿易)]

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

明は、中国の沿岸部を荒らし回っていた( ① )という海賊の取りしまりを日本に求めてきた。足利義満はこの求めに応じて(①)の取りしまりを行い、その見返りとして明との貿易を行うことになった(日明貿易)。その際、正式な貿易船と(①)を区別するために右図のような( ② )という合い札が使われた。日本の輸入品は銅銭などであった。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 倭寇 ② 勘合

[解説]

1392 年、第 3 代将軍足利義満あしかがよしみつは南北朝の統一を達成した。義満は、明みんの求めに応じて倭寇わこうの取りしまりを約束し、さらに日本国王として明



足利義満

[日明貿易]

1404年 足利義満、日明貿易を始める  
勘合で 正式な貿易船と倭寇を区別  
輸入品: 銅銭など, 輸出品: 銅など

の皇帝に従う朝貢ちょうこうという形式をとって、1404 年に日明貿易(勘合貿易)にちみんぼうえき かんごうぼうえきを始めた。このような形式をとってまで、義満が日明貿易を行ったのは、その利益が非常に大きかったため、財政基盤の弱い室町幕府にとっては魅力的なものであった。

(勘合)



貿易船には、正式な貿易船と倭寇を区別するために勘合かんごうという合い札をもたせた。「本字勘合」などと書いた札を 2 つに分け、片方を勘合船がもち、

片方を中国の役所でもっていて、2 つの割札わりふだがきちんと重なるかどうかで、正式の貿易船と倭寇を区別した。日本からの輸出品は銅、刀、硫黄、漆器などで、日本の輸入品は銅銭、生糸、絹織物、書画、陶磁器などであった。日明貿易がはじまると倭寇の活動はおさまった。

※出題頻度: 「足利義満○」「日明貿易○」「勘合◎」「倭寇と正式な貿易船を区別するため◎」「銅銭などの輸入品○」

[問題](3 学期)

右の資料は、足利義満が明と行った貿易で使われた合い札である。これについて、次の各問いに答えよ。



- (1) 右の資料のような合い札を何というか。
- (2) この貿易を何というか。
- (3) この貿易で、日本が輸入したものとして、生糸、絹織物、書画、陶磁器のほかに何があるか。1つ答えよ。
- (4) (1)を用いた理由を「正式な貿易船」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) 勘合 (2) 日明貿易(勘合貿易) (3) 銅銭 (4) 正式な貿易船と倭寇を区別するため。

[問題](後期中間)

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

14 世紀後半、元を倒して建国した( ① )は、中国の沿岸部を荒らし回っていた( ② )という海賊の取りしまりを日本に求めてきた。3 代将軍の( ③ )はこの申し入れに応じて(②)の取りしまりを約束し、その見返りとして(①)との貿易を行うことになった。この貿易を( ④ )貿易という。正式な貿易船と(②)を区別するために( ⑤ )という合い札が用いられた。日本からの輸出品は( ⑥ )、刀、硫黄、漆器などで、日本の輸入品は(⑥)銭、絹織物、生糸、書画、陶磁器などであった。

[解答欄]

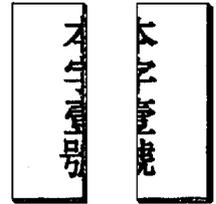
①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 明 ② 倭寇 ③ 足利義満 ④ 日明(勘合) ⑤ 勘合 ⑥ 銅

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 明が倭寇の取りしまりを日本に求めてきたとき、これに応じた、右図の室町幕府の第3代将軍は誰か。
- (2) (1)によって始まった貿易を何というか。
- (3) (2)の貿易で使われた右下図のような合い札を何というか。
- (4) (3)の合い札は何の目的で使われたのか。
- (5) 日本が中国から輸入したものを次の[ ]からすべて選べ。  
[ 刀 銅銭 銅 絹織物 生糸 ]
- (6) 日本が中国へ輸出したものは何か。(5)の[ ]からすべて選べ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		
(5)	(6)	

[解答](1) 足利義満 (2) 日明貿易(勘合貿易) (3) 勘合 (4) 正式な貿易船と倭寇を区別するため。 (5) 銅銭, 絹織物, 生糸 (6) 刀, 銅

【】 朝鮮国・琉球王国・蝦夷地

[朝鮮国]

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

14 世紀末，李成桂が高麗をほろぼして( ① )国を建てた。(①)国では( ② )という文字をつくるなど，独自の文化が発展した。(①)国も，日本に倭寇の取りしまりを求め，さらに貿易を求めてきたので，足利義満は日朝貿易を始めた。日朝貿易で，日本は綿織物や仏教の経典を輸入した。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 朝鮮 ② ハングル

[解説]

14 世紀末，李成桂が高麗を倒して朝鮮国を建国した。朝鮮では，ハングルという文字をつくるなど，独自の文化が発展した。朝鮮も，日本に倭寇の取りしまりを求め，さらに貿易を求めてきたので，足利義満は日朝貿易を始めた。日朝貿易では，日本の各地の守護大名などが貿易船を派遣して綿織物や仏教の経典を輸入した。この貿易では対馬の宗氏が朝鮮から特別な地位を与えられ，中心的な役割を果たすことになった。

[朝鮮国]  
 高麗→朝鮮国(李成桂)  
ハングル: **한글**  
 足利義満: 日朝貿易

※出題頻度：「高麗→朝鮮国○」「李成桂△」「ハングル○」「日朝貿易△」

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 朝鮮半島では，14 世紀末に高麗が滅亡し，何という国が建国されたか。
- (2) (1)の国を建国したのは誰か。
- (3) (1)の国で制定された右図のような文字を何というか。
- (4) (1)の国は日本に( ① )の取りしまりを求め，さらに貿易を求めてきたので，足利義満は( ② )貿易を始めた。①，②にあてはまる語句を答えよ。

한글

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)①
②			

[解答](1) 朝鮮国 (2) 李成桂 (3) ハングル (4)① 倭寇 ② 日朝

[問題](前期中間)

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ。

14世紀末、朝鮮半島では倭寇の侵入を食い止めた(①)が、(②)(国名)を倒し、国名を(③)と改めた。(③)では(④)という文字が作られ、金属活字を用いて印刷するなど独自の文化が発展した。この(③)も通交とともに倭寇の禁圧を日本に求め、両国間の国交がひらかれ、(⑤)貿易が始まった。(⑤)貿易で日本は大量の(⑥)や仏教の経典・陶磁器などを輸入した。また、(⑤)貿易では対馬の(⑦)氏が特別な地位を与えられ、中心的な役割を果たすことになった。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

[解答]① 李成桂 ② 高麗 ③ 朝鮮国 ④ ハングル ⑤ 日朝 ⑥ 木綿 ⑦ 宗

[琉球王国の成立]

[問題](3学期)

15世紀はじめに、尚氏は沖縄島を統一して首里を都とする国を建てた。この国は、日本、明、朝鮮、東南アジアに船を送り、他国からの輸入品を別の国へ輸出する中継貿易で栄えた。この国の名を答えよ。

[解答欄]

[解答]琉球王国

[解説]

琉球(沖縄県)では、12世紀に本格的に農耕が始まり、やがて城(グスク)を根拠地にして、按司と呼ばれる豪族たちが現れた。14世紀になると、豪族たちは北山・中山・南山の3つの勢力にまとまり、それぞれが明と朝貢貿易を始めた。15世紀初めに、中山の王になった尚氏は、北山・南山の勢力をほろぼして沖縄島を統一し、琉球王国を建て首都の首里に首里城を築いた。琉球王国は、明、日本、朝鮮、東南アジア各地に進出して中継貿易を行った。中継貿易とは、おもに他国からの輸入品を別の国へ輸出する貿易の形態である。

[琉球王国] 尚氏が建国 中継貿易で栄える
-----------------------------

※出題頻度：「尚氏△」「琉球王国◎」「首里・首里城△」「中継貿易○」

[問題](後期中間改)

次の文中の①～③に適語を入れよ。

沖縄では、15世紀はじめに( ① )氏が( ② )王国を建て首都の首里に首里城を築いた。  
(②)王国は、明、日本、朝鮮、東南アジア各地に進出して( ③ )貿易を行った。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 尚 ② 琉球 ③ 中継

[問題](2学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 15世紀はじめ、沖縄島を統一したのは何氏か。
- (2) (1)によってつくられた国の名前は何か。
- (3) (2)の首都はどこか。
- (4) (3)につくられた王城の名は何か。
- (5) 日本、明、朝鮮、東南アジアを相手に、(1)の国が行っていた貿易を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 尚氏 (2) 琉球王国 (3) 首里 (4) 首里城 (5) 中継貿易

[問題](前期中間)

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

12世紀から沖縄の各地に出現した豪族・領主を( ① )といい、彼らは小高い丘に石垣を廻らせて( ② )と呼ばれる城砦を築いて支配を争っていた。14世紀には彼らはいくつかの連合にまとまり、3つの王国が並び立った。そのひとつの中山王であった( ③ )氏が3つの王国を統一して( ④ )王国を築いた。(④)王国の都は( ⑤ )で、そこに作られた城は(⑤)城であった。(④)王国は東シナ海を中心に、中図・日本・朝鮮・東南アジアの国々の間に立って( ⑥ )貿易を行った。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 按司 ② グスク ③ 尚 ④ 琉球 ⑤ 首里 ⑥ 中継

[蝦夷地：アイヌ民族]

[問題](1 学期中間改)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

室町時代のころ，蝦夷地では( ① )民族が生活していた。14 世紀になって十三湊(右図)に根拠地を置く豪族の安藤氏が(①)の人々との交易を行うようになり，さらに 15 世紀になると，蝦夷地南部に本州の人々(和人)が館を築き進出していった。和人との取引をめぐる(①)の人々は不満を持ち，15 世紀半ばに，首長の( ② )を中心として戦いを起こしたが敗れた。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① アイヌ ② コシャマイン

[解説]

蝦夷地(北海道)では，アイヌ民族が 13 世紀から狩りや漁，交易を行っていた。14 世紀になって津軽(青森県)の十三湊に根拠地を置く豪族の安藤氏がアイヌの人々との交易を行うようになり，さらに 15 世紀になると，蝦夷地南部に本州の人々(和人)が館を築き進出していった。

交易がさかんになるにつれて，取引をめぐるアイヌの人々は圧迫を受けるようになり，15 世紀半ばに，首長のコシャマインを中心とした大きなアイヌ民族の蜂起が起きた。しかし和人勢力はこの戦いに勝利し，支配をさらに広げていった。

[蝦夷地]

アイヌ民族

14世紀 十三湊の安藤氏と交易

15世紀 蝦夷地南部に倭人が館を築く  
コシャマインを中心とする反乱



※出題頻度：「蝦夷地△」「アイヌ民族○」「十三湊(地図)△」「館△」「コシャマイン△」

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 北海道は，昔，何と呼ばれていたか。
- (2) (1)に古くから暮らしていた人々は何民族か。
- (3) 右の地図中の P は，(2)の人々との交易を行った安藤氏の根拠地で，北の日本海交通の中心として栄えた。この港町を何と叫ぶか。
- (4) 和人が(1)南部につくった根拠地を何と叫ぶか。
- (5) 15 世紀半ばに，本州の和人の進出に圧迫を受けた(2)の人々が蜂起したが，そのときの(2)の指導者である首長は誰か。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 蝦夷地 (2) アイヌ民族 (3) 十三湊 (4) 館 (5) コシヤマイン

【】産業の発達と民衆の生活

【】農業・商工業の発達

[農業の発達]

[問題](1 学期中間)

次の文は、室町時代の農業について述べたものである。文中の a～e のうち適当でないものを 1 つ選び、正しい語句を書け。

米と麦の a 二期作が広がり、かんがいに b 水車を、田畑の耕作に牛馬を使い、肥料には c 牛馬のふんや d 堆肥が使われた。また、麻やくわ、e 茶などの商品作物の栽培も広がった。

[解答欄]

記号：	語句：
-----	-----

[解答]記号：a 語句：二毛作

[解説]

室町時代、農業では、鎌倉時代に始まった<sup>にもうさく</sup>二毛作(同じ土地で 1 年に 2 種類の作物を作る農業)がさらに広がった。田畑の耕作に牛馬を、かんがいに水車を、肥料に牛馬のふんや<sup>たいひ</sup>堆肥を使うようになり、農業の生産性が向上した。また、麻やくわ、あい、茶などの商品作物の栽培が広がった。(二期作は同じ作物(米など)を 1 年に 2 回作る農業である)  
※出題頻度：「二毛作○」「牛馬を使った耕作△」「水車△」「牛馬のふんや堆肥△」

[室町時代の農業の発達]  
二毛作、肥料、水車  
商品作物の栽培

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

室町時代になると、同じ土地で 1 年に 2 種類の作物を作る( ① )作が広まった。また、田畑の耕作に( ② )を、かんがいに( ③ )を、肥料に(②)のふんや堆肥を使うようになり、収穫が増えた。麻やくわ、あい、茶などの商品作物の栽培も広がった。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 二毛 ② 牛馬 ③ 水車

[問題](後期期末)

室町時代、農業生産が向上したが、これと関係が深いことをア～エから 2 つ選べ。

- ア 牛馬のふんや堆肥を肥料にした。
- イ 鉄製の農具が伝わった。
- ウ 米の二期作が始まった。
- エ かんがいに水車を利用した。

[解答欄]

[解答]ア, エ

[定期市・運送業]

[問題](3 学期)

室町時代, 商業がさかんになり定期市が各地で開かれ, これにともなって運送業もさかんになった。問と呼ばれる運送業をかねた港の倉庫業者や, 物資の陸上輸送をあつかう運送業者が活動した。馬の背に荷物を積んで運ぶ右図のような運送業者を何といったか。



[解答欄]

[解答]馬借

[解説]

室町時代, 商業もさかんになり, <sup>ていきいち</sup>定期市が各地で開かれ, 開かれるれる日数も月 6 回に増えた。取引には, 中国から輸入された<sup>そうせん みんせん</sup>宋銭や明銭が使われた。

これにともなって, 運送業もさかんにな

り, <sup>ばしやく</sup>馬借(馬の背に荷物を積んで荷物を運ぶ業者), <sup>と</sup>問(港の運送業・倉庫業者)などの運送業者が活躍した。交通の要所には, 通行税をとるために幕府や寺社が<sup>せきしよ</sup>関所を設けた。

※出題頻度: 「定期市○」「宋銭や明銭△」「馬借◎」「問○」「関所△」

[定期市・運送業]

定期市(宋銭や明銭)

運送業: 馬借, 問

関所で通行税

(馬借)



[問題](後期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

室町時代, 商業では, ( ① )市が月 6 回に増え, 取引には, 宋銭や明銭などが使われた。これにともなって, 運送業もさかんになり, 陸路では馬の背に荷物を積んで運ぶ( ② ), 港町では運送業をかねた倉庫業者である( ③ )などが活躍した。交通の要所には, 通行税をとるために幕府や寺社が関所を設けた。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 定期 ② 馬借 ③ 問

[問題](後期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 室町時代、馬の背に荷物を積んで運ぶ運送業者があらわれた。この運送業者は何か。
- (2) 室町時代、瀬戸内海や日本海には、年貢や商品を運ぶ船が行きかい、港には運送業者が倉庫をかまえた。この運送業者を何というか。
- (3) 交通の要地などで開かれるようになった市場を何というか。
- (4) (3)の市場などでの取引に使われた貨幣は何か。2つ答えよ。
- (5) 通行税をとるために幕府や寺社が交通の要所に設置したものを何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 馬借 (2) 問 (3) 定期市 (4) 宋銭, 明銭 (5) 関所

[問題](1 学期期末)

次の文章について、後の各問いに答えよ。

鎌倉時代から室町時代にかけて日本の農業の生産力が大きく向上した。その要因は様々である。例えば、A 同じ耕作地で時期をずらして2種類の作物を栽培したり、牛や馬の力を利用したりなどがある。農作物の生産が増加することで農業以外の職業に就く人が増加した。多種多様な商品を生産する職人が多く登場した。そして、生産された B 商品は売買された。また、商品を運ぶ C 運送業者も登場した。

- (1) 下線部 A について、このような栽培方法を何というか答えよ。
- (2) 下線部 B について、①寺社の門前や交通の便利な所などで、毎月決まった日に開かれる市のことを何というか。②また、寺社の近くにできた町を何というか。
- (3) 下線部 B について、商品の売買は貨幣で行われた。鎌倉、室町時代に使用されていた貨幣はどこの国で生産されたものか、国名(王朝名)を2つ答えよ。
- (4) 下線部 C について、①馬を使って荷物を運ぶ運送業者を何というか。②また、海上の運送を担当した業者を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)①	②	(3)
(4)①	②		

[解答](1) 二毛作 (2)① 定期市 ② 門前町 (3) 宋, 明 (4)① 馬借 ② 問

[座・土倉や酒屋・町衆]

[問題](2 学期中間改)

室町時代、土倉や酒屋などの高利貸し、商人や手工業者などは、同業者ごとに( X )という団体をつくり、武士や貴族、寺社にお金などで税をおさめてその保護を受け、営業を独占する権利を認められた。京都では、町衆と呼ばれる裕福な商工業者によって都市の政治が行われた。文中の X に適語を入れよ。

[解答欄]

[解答]座

[解説]

宋銭や明銭が一般に流通するようになると、金融業もさかんになり、京都や奈良では、土倉とよばれた質屋のほか、酒屋も金貸しを営んだ。土倉や酒屋、商人や手工業者は、同業者ごとに座とよばれる団体をつくり、公家や寺社に営業税を納めるかわりに、営業を独占する権利を認めてもらった。

[座・土倉や酒屋・町衆]

金融業：土倉、酒屋

同業者の組合：座

京都では、町衆が自治

都市も発達した。京都では、町衆と呼ばれる裕福な商工業者によって都市の政治が行われ、祇園祭も盛大にもよおされた。また、日明貿易や日朝貿易で栄えた博多や堺でも、自治が行われた。

※出題頻度：「土倉・酒屋◎」「座◎」「町衆○」

[問題](3 学期)

室町時代の社会について、正しくない説明を次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

ア 土倉や酒屋が金融業を営んで栄えた。

イ 商人や手工業者は、座という団体をつくり、公家や寺社に営業税を納めるかわりに、営業を独占する権利を認めてもらった。

ウ 京都では町衆とよばれる商工業者が自治を行った。

エ 大寺院の僧が武装して主張を押し通そうとした。

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エが誤り。エは平安時代末期の院政が行われていた時代のことである。

[問題](後期期末)

次の文中の①～③に適語を入れよ。

室町時代にはさらに経済が発展し、( ① )や酒屋が金融業を営んで栄えた。また、(①)や酒屋、商人や手工業者は( ② )という同業者団体をつくって、武士や貴族、寺社にお金などで税をおさめてその保護を受け、営業を独占する権利を認められた。

京都では、( ③ )と呼ばれる裕福な商工業者によって都市の政治が行われ、祇園祭も盛大にもよおされた。また、日明貿易や日朝貿易で栄えた博多や堺でも、自治が行われた。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 土倉 ② 座 ③ 町衆

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 室町時代の金融業者を 2 つあげよ。
- (2) (1)や商人や手工業者などが同業者の団体をつくった。この団体を何というか。
- (3) (2)の団体は寺社や貴族に税を納めるかわりにどのような権利が認められたか。
- (4) 京都で自治組織をつくった有力な商工業者を何というか。
- (5) 京都において(4)のはたらきかけで復興した祭りは何か。
- (6) 日明貿易や日朝貿易で栄え、自治が行われていた都市を 2 つあげよ。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

[解答](1) 土倉、酒屋 (2) 座 (3) 営業を独占できる権利 (4) 町衆 (5) 祇園祭 (6) 堺、博多

[問題](入試問題)

室町時代、商人や手工業者は、同業ごとに「座」と呼ばれる団体をつくっていた。資料は、京都の「大山崎油座」が、この座に入っていない摂津や近江の商人の商業活動について幕府に訴えたことを受け、出された命令の一部である。資料の下線部の目的は何か、「座」がもっている権利を明らかにして書け。

(資料)

摂津や近江の住人たちが、勝手にえごま(灯油の原料)を売買しているということであるが、今後は彼らの使っている油しぼり機を壊すようにと将軍から命令が下された。よって申し伝える。

(石川県)

[解答欄]

[解答]座に入っていない摂津や近江の商人に灯油を作らせないようにすることで，大山崎油座の灯油の製造を独占する権利を守るため。

## 【】村の自治と土一揆

[村の自治]

[問題](2 学期中間改)

室町時代、農村では( X )とよばれる自治組織が作られ、村の有力者や年長者が中心になって寄合を開き、独自に村のおきてを作ったり、罪を犯した者を処罰したりした。また、祭りを取りしきり、用水や山野を維持・管理して、村が年貢の納入をひとまとめに請け負うこともあった。文中の X に適語を入れよ。

[解答欄]

--

[解答]惣

[解説]

室町時代、農村では惣そうとよばれる自治組織が作られ、村の有力者や年長者が中心になって寄合よりあひを開き、独自に村のおきてを作ったり、罪を犯した者を処罰したりした。また、祭りを取りしきり、用水や山野を維持・管理して、村が年貢の納入をひとまとめに請け負うこともあった。

※出題頻度：「惣◎」「寄合△」

[村の自治]

惣という自治組織  
寄合を開いて意思決定

[問題](3 学期)

次の文中の①～③に適語を入れよ。

室町時代、農村では( ① )とよばれる自治組織が作られ、( ② )という話し合いで、農業用水路の建設や管理、燃料や飼料をとる森林の利用や管理などについて、村の( ③ )を定めた。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

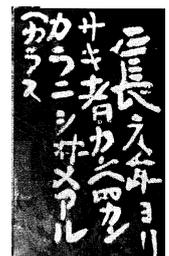
[解答]① 惣 ② 寄合 ③ おきて

[土一揆]

[問題](2 学期中間改)

次の文章中の①、②に適語を入れよ。

室町時代、広い範囲にわたって結びつきを固めた農民は、年貢を減らす交渉をしたり、酒屋や土倉をおそって借金の証文を奪う( ① )をおこしたりした。右の資料の碑文は、1428 年、近江周辺の馬借や京都の農民が、土倉や酒屋などの高利貸しをおそい、幕府に( ② )帳消しの徳政令を出すように要求した正長の(①)のときのものである。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 土一揆 ② 借金

[解説]

団結を固めた農民は、荘園領主に対抗するようになり、不法をはたらく荘官をやめさせるよう荘園領主に要求したり、不作のときには年貢を減らすように要求し、認められないときには、全員が耕作をやめて逃げるなど、実力行使によって要求を認めさせたりした。

このような農民の力を、衝撃的な形で見せつけたのが、1428年の正長の土一揆であった。(人よにや(1428)つく土一揆)

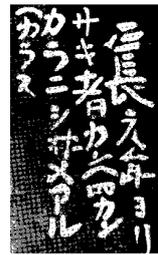
8月に、まず近江の運送業者の馬借が借金の帳消しを要求して立ち上がり、これに刺激されて、京都近郊の惣村でも徳政を幕府に要求して一揆を起し、酒屋や土倉などの金貸しをおそって借金の証文を焼き捨てるなどした。このような農民の一揆を土一揆という。農民が集団でこのような暴動を起したのは、初めての

ことであった。この後、徳政を要求する土一揆が、京都やその周辺でひんぱんに起こるようになり、幕府もこれにおされて徳政令を乱発するようになった。

※出題頻度：「土一揆○」「正長の土一揆○」「借金の帳消し○」

[村の自治と土一揆]  
惣→農民の団結→土一揆  
1428年 正長の土一揆  
借金の帳消しを求めた

(正長元年以前の借金は  
神戸四か郷では帳消し  
にする)

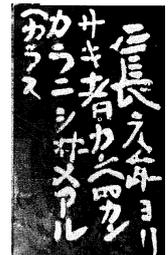


[問題](3学期)

次の各問いに答えよ。

室町時代、a 村の自治が発達した。b 団結した農民たちは、領主と年貢を減らす交渉をしたり、土倉や酒屋を襲ったりした。

- (1) 下線部 a について、村ごとにつくられた自治的な組織を何というか。
- (2) 下線部 b について、このような一揆を何というか。
- (3) 1428年に起こった(2)の一揆は何か。
- (4) 右の資料は、(3)の一揆後に作られた碑文である。「正長元年ヨリサキ者カンヘ四カンカウニヲキメアルヘカラス」とあるが、下線部の意味を「借金」という語句を使って簡単に答えよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
(4)		

[解答](1) 惣 (2) 土一揆 (3) 正長の土一揆 (4) 借金は帳消しにする。

[問題](3 学期)

次の文章中の①～⑥に適語を入れよ。

室町時代、農村では( ① )とよばれる自治組織が作られ、( ② )という話し合いで、農業用水路の建設や管理、燃料や飼料をとる森林の利用や管理などについて、村のおきてを定めた。広い範囲にわたって結びつきを固めた農民は、年貢を減らす交渉をしたり、酒屋や( ③ )をおそって借金の証文を奪う( ④ )一揆をおこしたりした。1428 年に起こった( ⑤ )一揆は、近江・山城・大和など各地に広がり、幕府に借金帳消しの( ⑥ )令を出すように要求した。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥		

[解答]① 惣 ② 寄合 ③ 土倉 ④ 土 ⑤ 正長の土 ⑥ 徳政

[問題](2 学期期末)

室町時代、土一揆を農民が起こせるようになった理由を「惣」「団結力」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]村の中で惣という自治組織ができて、農民の団結力が強くなったため。

【】 応仁の乱と戦国大名

【】 応仁の乱

[問題](2 学期中間)

第 8 代将軍足利義政のあとつぎ問題をめぐり、細川氏と山名氏が対立し、1467 年、その後 11 年続く戦乱が始まった。この戦乱を何というか。

[解答欄]

[解答] 応仁の乱

[解説]

強い権力をふるった第 6 代将軍足利義教あしかがよしのりの死後、幕府では守護大名間の勢力争いが起こった。1467 年、第 8 代将軍足利義政よしまさのとき、将軍のあとつぎ争いと、細川氏ほそかわと山名氏やまなしの対立から、応仁の乱おうにんが起こった。(応仁の乱人よむな(1467)しく死んでいく) 戦乱せんらんは多くの守護大名をまきこんで 11 年も続き、京都から全国に広がった。

[応仁の乱]  
8代将軍 足利義政の後継ぎ問題で、  
細川氏と山名氏の対立  
↓  
1467年 応仁の乱

※出題頻度：「足利義政△」「山名氏と細川氏の対立△」「応仁の乱◎」

[問題](前期中間)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

第 8 代将軍( ① )のときに、将軍のあとつぎ問題をめぐって、有力な守護大名の( ② )氏と山名氏が対立し、1467 年に( ③ )の乱が起こった。11 年間に及ぶ戦乱によって、京都の大半は焼け野原になり、戦乱は地方にも広がった。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 足利義政 ② 細川 ③ 応仁

[問題](1 学期期末)

15 世紀後半、第 8 代将軍のあとつぎ問題をめぐって有力な( A )大名の間に対立が起こり、京都を中心に 11 年にわたる戦乱が始まった。

- (1) この戦乱を何というか。
- (2) (1)が起こったのは何年か。
- (3) 第 8 代将軍とは誰か。
- (4) 本文中の A に適語を入れよ。
- (5) 対立した有力な(A)大名は何氏と何氏か。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 応仁の乱 (2) 1467年 (3) 足利義政 (4) 守護 (5) 細川氏と山名氏

【】国一揆・一向一揆

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 1485 年，現在の京都府で，農村に住む武士と農民とが一体となつて守護大名を追い払う一揆が起こった。この一揆を何というか。
- (2) 右図のような旗をかかげ，浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民が起こした一揆を何というか。



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 山城国一揆 (2) 一向一揆

[解説]

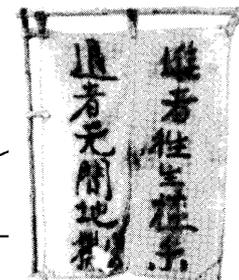
応仁の乱後の 1485 年，山城(京都府)南部の村は，地侍を中心にとままりを強め，両派に分かれて争っていた守護大名の畠山氏の両軍勢に対して国外退去を要求し，「退去しないときは攻撃するぞ」とせまり，1 週間後に退去させた。そして，村々の代表者を選び，おきてを定め，犯罪のとりしまりを行うなど，自治による政治を 8 年間続けた。この一揆を，山城国一揆という。

近畿，北陸，東海地方では応仁の乱のころから一向宗(浄土真宗)が急速に広がり，信仰で固く結ばれた地侍と農民が一向一揆を起こして荘園領主や守護大名に対抗するようになった。

なかでも加賀(現在の石川県)では，1488 年，約 20 万人といわれる一揆軍が守護大名を攻めほろぼし，以降 100 年間「百姓の持ちたる国」として自治をつづけた。(人よパッパ(1488)と一向一揆) 図の旗は一向一揆軍のものである。

※出題頻度：「山城国一揆○」「一向一揆○」

[国一揆・一向一揆]	
1485年	山城国一揆
1488年	加賀の一向一揆



「進まば往生極楽、退かば無間地獄」と書かれている。

[問題](1 学期期末)

次の A～C の一揆を何というか。

一揆の種類	A	B	C
場所・内容	近江国で，農民らが徳政令を要求し，土倉・酒屋をおそう。	山城国で，武士や農民が守護大名の軍勢を追い出す。	加賀国で，浄土真宗の信徒が守護を追い出す。
結果		8 年間の自治	約 100 年間の自治

[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A 正長の土一揆 B 山城国一揆 C 加賀の一向一揆

[問題](1 学期中間)

応仁の乱は全国に広がり、地方の社会に新たな動きが始まった。(a)山城南部では、武士と農民とが一体となって守護大名を追いはらう(b)一揆をおこし、自治を行った。また、(c)加賀では、信仰で結びついた武士や農民たちが、守護大名をたおした。

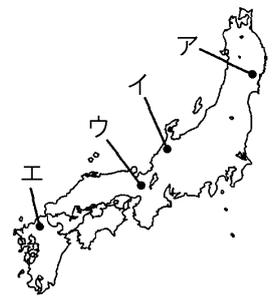
(1) 下線部 a の山城の国は現在の都道府県ではどこにあたるか。次の[ ]より 1 つ選べ。

[ 奈良県 富山県 京都府 大阪府 兵庫県 ]

(2) 下線部 b の一揆を何というか。

(3) 下線部 c を「加賀の○○○○」とよんでいる。○○○○にあてはまる語句を漢字 4 字で書け。

(4) 下線部 c が起きた場所を右の地図のア～エから 1 つ選び、記号を書け。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 京都府 (2) 山城国一揆 (3) 一向一揆 (4) イ

## 【】 戦国大名

[下剋上と戦国大名]

[問題](前期期末)

応仁の乱の後、実力のある家臣が主君である守護大名の地位を奪って、戦国大名として登場するなど、実力のある者が力をのばして上の身分の者に打ち勝つ風潮が広がった。こうした風潮を何というか。漢字 3 文字で答えよ。

[解答欄]

--

[解答]下剋上

[解説]

応仁の乱以降、実力のある者が力をのばして上の身分の者に打ち勝つ<sup>げこくじょう ふうちょう</sup>下剋上の風潮が広がった。下剋上で守護大名の地位をうばって実権をにぎったり、守護大名が成長したりして、戦国大名<sup>せんごくだいみょう</sup>が各地に登場した。応仁の乱以後の約 100 年間は戦国時代<sup>せんごくじだい</sup>という。

[下剋上と戦国大名の登場]

応仁の乱後、戦国時代、戦国大名

下剋上：実力のある者が力をのばして上の身分の者に打ち勝つ

※出題頻度：「下剋上○」「実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ち勝つ○」「戦国時代○」「戦国大名○」

[問題](後期中間)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

1467年に起きた( ① )の乱後、戦乱が全国に広がった。実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ち勝つ( ② )の風潮が広がった。守護大名の地位をうばって実権をにぎったり、守護大名が成長したりして、( ③ )大名が各地に登場した。応仁の乱以後の約 100 年間は(③)時代という。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 応仁 ② 下剋上 ③ 戦国

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 応仁の乱後、約 100 年間にわたって、全国各地で混乱と争いが続いた。この時代を何というか。
- (2) 応仁の乱後、下剋上の風潮が広がった。下剋上の意味を、「実力」「身分」の語句を使って説明せよ。

(3) 応仁の乱以降、実力で領国を治めるようになった大名を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) 戦国時代 (2) 実力のある者が、力をのばして上の身分の者に打ち勝つこと。

(3) 戦国大名

[戦国大名の領国支配]

[問題](3 学期改)

応仁の乱後の下剋上の風潮の中で登場した戦国大名は、近くの大名との戦いに備えて、領国の武士をまとめ強力な軍隊をつくることをめざした。自分の城の周囲に家臣や商工業者を集めて城下町をつくったり、家臣や領民を統制するための独自の法律を定めたりした。下線部のような法律を何というか。

[解答欄]

--

[解答]分国法

[解説]

戦国大名は、<sup>りょうごく</sup>領国支配のための<sup>ぶんこくほう</sup>分国法という独自の法律を定めた。また、武士や商工業者を集めて<sup>じょうかまち</sup>城下町をつくった。さらに、農業用水路の建設や<sup>いわみぎんざん</sup>鉱山の開発などにも力を注いだ。石見銀山(島根県)は戦国大名の保護のもとで博多の商人によって開発され、産出された大量の銀は海外に輸出され世界的に大きな影響をあたえた。

[戦国大名の領国支配]

分国法, 城下町

※出題頻度：「分国法◎」「城下町○」

[問題](後期期末)

次の文章中の①、②に適語を入れよ。

戦国大名は( ① )という独自の法律をつくり、武士や農民を支配した。また、自分の城の周囲に家臣や商工業者を集めて( ② )町を発達させた。さらに、農業用水路の建設や鉱山の開発(たとえば、石見銀山)などにも力を注いだ。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 分国法 ② 城下

[問題](1 学期期末)

戦国大名の領国支配について述べた文章として誤っているものを、次のア～オから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 大規模なかんがい工事を行い、耕地を広げた。
- イ 金山や銀山の開発に力を入れた。
- ウ 農民や武士を統制するために分国法という独自の法律をつくった。
- エ 城下町に家臣を住ませ、商工業者を呼び寄せた。
- オ 荘園領主の支配を認め、領内の荘園を保護した。

[解答欄]

--

[解答]オ

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 戦国大名が出した独自の法令を何というか、漢字で答えよ。
- (2) (1)の法令が定められた目的を、「農民や武士」という語句を使って簡単に書け。
- (3) 戦国時代、各地の大名たちが自分の城の周囲に家臣や商工業者を集めて町を発達させた。このような町を何というか。
- (4) 戦国大名の保護のもとで博多の商人によって開発された現在の島根県にある银山は何か。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	(4)

[解答](1) 分国法 (2) 農民や武士を統制するため。 (3) 城下町 (4) 石見银山

【】室町文化

[北山文化]

[問題](2学期中間)

右図は第3代将軍の足利義満が建てた( X )で、貴族の文化と、禅宗の影響を受けた武士の文化が混じり合った室町文化の特色がよく表されている。足利義満の時代の文化を特に北山文化という。文中の X に適語を入れよ。



[解答欄]

[解答]金閣

[解説]

[室町文化]

貴族の文化と、禅宗の影響を受けた武士の文化が混じり合った文化

金閣 足利義満の時代→北山文化



(金閣の建築の様式)

金閣は、第3代将軍の足利義満が京都の北山に建てた別荘で、金箔を用いた豪華絢爛なつくりで、第一層は寝殿造になっている。

金閣には、貴族の文化と、禅宗の影響を受けた武士の文化が混じり合った室町文化の特色がよく表されている。足利義満の時代の文化を特に北山文化という。

※出題頻度：「足利義満○」「金閣◎」「寝殿造△」「貴族の文化と、禅宗の影響を受けた武士の文化が混じり合った室町文化○」「北山文化○」

[問題](2学期期末)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

足利義満が建てた( ① )には、貴族の文化と、( ② )宗の影響を受けた武士の文化が混じり合った室町文化の特色がよく表されている。足利義満の時代の文化を特に( ③ )文化という。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 金閣 ② 武家 ③ 北山

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の建築物は何か。
- (2) 右の建築物を建てた将軍は誰か。
- (3) (2)の時代の室町文化を特に何文化というか。
- (4) 右の建築物の第一層にとり入れられた、平安時代に成立した貴族の住宅の様式を何というか。
- (5) 右の建築物は室町文化の特色をよく表しているとされる。どのような特徴か。「貴族」「禅宗」「武士」の語句を使って説明せよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 金閣 (2) 足利義満 (3) 北山文化 (4) 寝殿造 (5) 貴族の文化と、禅宗の影響を受けた武士の文化が混じり合っている。

[能・狂言など]

[問題](2 学期中間改)

次の文章中の①, ②に適語を入れよ。

平安時代から神社の祭りなどのとき、農民によって行われてきた猿楽は、足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥親子によって( ① )として大成された。狂言は(①)の合間に演じられた。宋から禅宗とともに伝わった茶の習慣は、( ② )として流行した。貴族の文化であった和歌からは、複数の人が歌をつないでいく連歌が生まれ、武士にも広がった。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 能 ② 茶の湯

[解説]

貴族や武士は、猿楽や田楽などの芸能を楽しんだが、観阿弥・世阿弥の親子は、猿楽にほかの芸能の要素を取り入れて革新し、幕府の保護を受け、現在まで続く能を大成した。狂言は能の合間に演じられた。宋から禅宗とともに伝わった茶の習慣は、茶の湯として流行した。貴族の文化であった和歌からは、複数の人が歌をつないでいく連歌が生まれ、武士にも広がった。

[能・狂言など]

能：観阿弥・世阿弥

狂言：能の合間

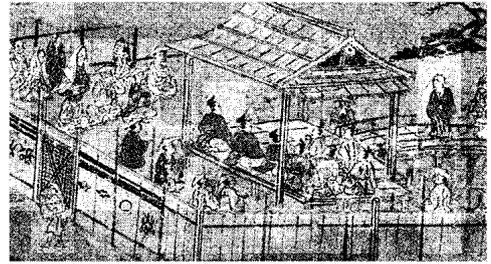
茶の湯, 連歌

※出題頻度：「能◎」「世阿弥○」「狂言△」「茶の湯△」「連歌△」

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の資料は、猿楽から発達した芸能のようすを表している。何という芸能か。
- (2) (1)の芸能に関係のある人を、次から1人選べ。  
[ 運慶 世阿弥 雪舟 ]
- (3) (1)の合間に民衆の生活や感情をよく表した劇が演じられたが、これを何というか。
- (4) 貴族の文化であった和歌からは、複数の人が歌をつないでいく何が生まれたか。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 能 (2) 世阿弥 (3) 狂言 (4) 連歌

[東山文化]

[問題](3 学期改)

次の文章中の①, ②に適語を入れよ。

足利義政は、京都の東山に禅宗の影響を受けた質素で気品ある( ① )(右図)を造った。(①)には寝殿造ではなく、禅僧の住まいをまねた( ② )造がつけられた。この時代の、武家をにない手とする簡素で気品のある文化を東山文化という。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 銀閣 ② 書院

[解説]

応仁おうにんの乱後、第8代将軍の足利義政よしまさは、京都の東山に禅宗の影響を受けた質素で気品ある銀閣ぎんかくを造った。銀閣には寝殿造しんでんづくりではなく、禅僧の住まいをまねた書院造しよいんづくりがつけられた。書院造には床の間があり、そこでは生け花や茶の湯の文化が育まれた。龍安寺りょうあんじなどの禅宗寺院では、砂や岩などで自然を表現した枯山水かれさんすいの庭園が造られ、こうした庭園造りには河原者かわらものが優れた手腕を發揮した。この義政の

時代の、武家をにない手とする簡素かんそで気品のある文化を東山文化ひがしやまという。

※出題頻度：「東山文化○」「足利義政○」「銀閣○」「書院造◎」

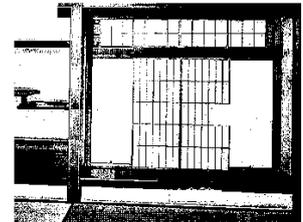
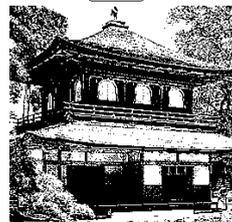
[東山文化]

足利義政の時代

武家をにない手とする簡素で気品のある文化

銀閣

書院造



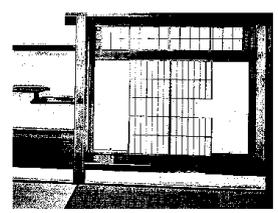
[問題](2 学期期末)

室町文化について、資料 1, 2 を参考にして以下の各問いに答えよ。

資料1



資料2



- (1) 資料1は15世紀後半に京都の東山に建てられた別荘である。これを何というか。漢字で書け。
- (2) (1)を建てた室町幕府の第8代将軍の名前を答えよ。
- (3) 資料2は(1)と同様に慈照寺内にあり、現在の和風建築のもとになっている。この建築様式を何というか。
- (4) (1)が建てられたころの武家をにない手とする簡素で気品のある文化を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 銀閣 (2) 足利義政 (3) 書院造 (4) 東山文化

[問題](2 学期中間)

室町時代の文化について、次の各問いに答えよ。

- (1) 足利義政が建てた別荘の名は何か。
- (2) (1)は京都のどこにあるか。次の[ ]から1つ選べ。  
[ 東山 西山 北山 ]
- (3) (1)の建物の庭をつくるのに力を発揮した人たちの身分を、次の[ ]から1つ選べ。  
[ 河原者 武士 農民 商人 ]
- (4) (1)と同じ敷地内にある東求堂同仁齋に見られる、現在の和風建築のもとになっている様式を何造というか。
- (5) 龍安寺などの禅宗寺院では、(3)の人たちなどによって、砂や岩などで自然を表現した庭がつくられた。このような庭を何というか。
- (6) 足利義政のころの文化を何というか。
- (7) (6)の文化の特色を次のア～エから1つ選べ。  
ア インド、ペルシャ、ギリシャの影響を受けたと思われる文化。  
イ 禅宗や宋の影響を受け、力強い武士の文化。  
ウ 武家をにない手とする簡素で気品のある文化。  
エ 唐風の文化を吸収し、日本の風土や生活に合った貴族中心の文化。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	

[解答](1) 銀閣 (2) 東山 (3) 河原者 (4) 書院造 (5) 枯山水 (6) 東山文化 (7) ウ

[解説]

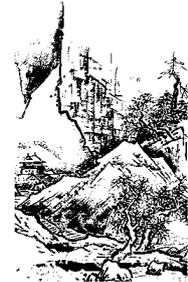
(3)足利義政のまわりには、作庭・花道・茶道などの芸能に秀でた<sup>かわらもの</sup>河原者と<sup>せんみん</sup>呼ばれる賤民身分の人々が集まった。

(7)アは奈良時代の天平文化。イは鎌倉時代の文化。エは平安時代の国風文化。

[水墨画]

[問題](2 学期中間)

右図は和紙に墨一色の濃淡でえがいた水墨画である。水墨画を大成した人物の名前を答えよ。



[解答欄]

--

[解答]雪舟

[解説]

和紙に墨一色の濃<sup>のうたん</sup>淡<sup>たん</sup>でえがく<sup>すいぼくが</sup>絵画を水墨画<sup>すいぼくが</sup>という。禅僧<sup>ぜんそう</sup>の雪舟<sup>せつしゅう</sup>が大成した。

[水墨画]

雪舟が大成

※出題頻度：「水墨画○」「雪舟◎」

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

(1) 右のように墨一色でかかれた絵画を何というか。

(2) (1)のような絵画を大成したのは誰か。



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 水墨画 (2) 雪舟

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

(1) 右のような様式の絵を何というか。

(2) (1)はどのような絵画か。簡単に書け。

(3) その様式の絵を大成したのは誰か。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 水墨画 (2) 墨一色で風景などを描く絵画。 (3) 雪舟

[民衆への文化の広がり]

[問題](2 学期期末)

「ものぐさ太郎」「一寸法師」など、絵入りの物語のことを何というか。

[解答欄]

--

[解答]御伽草子

[解説]

室町時代、民衆が楽しむ文化が生まれた。「一寸法師」<sup>いっすんぼうし</sup>、「浦島太郎」<sup>うらしまたろう</sup>、「ものぐさ太郎」などの御伽草子<sup>おとぎぞうし</sup>とよばれる絵本がつけられ、人々を楽しませた。また、風流おどりと呼ばれる、仮装のおどりも流行した。

[民衆への文化の広がり]

御伽草子:「一寸法師」

足利学校

戦国大名の上杉氏に保護されてきた足利学校(栃木県)には、広く日本国内から人材が集まり、儒学を学んだが、そこでさまざまな情報を交換した人々は、その知識を各地に伝えた。

※出題頻度:「御伽草子○」

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 室町時代、絵入りの物語が人々に喜ばれた。これを何というか。
- (2) (1)の物語の名を1つあげよ。
- (3) 室町時代の上杉氏に保護され儒学を学ぶ多くの人が集まったところを何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 御伽草子 (2) 一寸法師(浦島太郎, ものぐさ太郎) (3) 足利学校

【】 総合問題

[問題](要点整理)

次の年表中の①～④⑩に適語を入れよ。

年代	おもなできごと
1334年	( ① )天皇の( ② )の新政：武士の政治を否定し、( ③ )を重視する。 →武士の不満→( ④ )が武家政治の復活を呼びかけて兵をあげる。 (④)が京都に新しい天皇をたてる(北朝)。 (①)天皇は( ⑤ )(奈良県)に逃げる(南朝)。
1338年	(④)が北朝から征夷大將軍に任命されて( ⑥ )幕府を開く。 (⑥)幕府の組織：( ⑦ )(將軍を補佐)，( ⑧ )(関東を支配する地方機関) こののち60年間の( ⑨ )時代：動乱が続き、守護は( ⑩ )に成長。
1392年	第3代將軍( ⑪ )が(⑨)を統一。
1404年	(⑪)が中国の( ⑫ )(王朝名)との間に( ⑬ )貿易を始める。正式な貿易船と ( ⑭ )という海賊を区別するために( ⑮ )という合い札を使う。 日本の輸入品は( ⑯ )，生糸，絹織物，書画，陶磁器など。  高麗にかわって( ⑰ )国ができる。( ⑱ )文字がつくられる。 沖縄では，( ⑲ )王国が( ⑳ )貿易で栄える。 蝦夷地では( ㉑ )民族が，十三湊などの和人と交易 →和人の圧迫→( ㉒ )を指導者とする武力蜂起。  農業の発達：米の裏作に麦などを植える( ㉓ )，牛馬耕，肥料，水車。 ( ㉔ )：交通の要地などで開かれるようになった市場。 運送業：( ㉕ )(馬の背に荷物を積んで運ぶ)，( ㉖ )(港町)。 金融業：( ㉗ )や酒屋。 ( ㉘ )：商工業者がつくった同業者の団体。 京都では( ㉙ )という有力な商工業者が自治が行われる。
1428年	農村では( ㉚ )という自治組織がつくられ寄合を開き村のおきてを定めた。
1467年	→正長の( ㉛ )：幕府に( ㉜ )帳消しの徳政令を出すように要求。 ( ㉝ )の乱：第8代將軍( ㉞ )の後継ぎ問題で山名氏と細川氏が対立。 実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ( ㉟ )の風潮が広がる。
1485年	山城の( ㊱ )
1488年	加賀の( ㊲ ) 各地の( ㊳ )大名が争う(㊴)時代になる。 (㊴)大名は，( ㊵ )町や，( ㊶ )法という独自の法律をつくる。

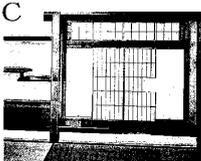
【解答欄】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳
㉑	㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗	㉘
㉙	㉚	㉛	㉜
㉝	㉞	㉟	㊱
㊲	㊳	㊴	㊵
㊶	㊷	㊸	㊹

【解答】① 後醍醐 ② 建武 ③ 貴族(公家) ④ 足利尊氏 ⑤ 吉野 ⑥ 室町 ⑦ 管領  
 ⑧ 鎌倉府 ⑨ 南北朝 ⑩ 守護大名 ⑪ 足利義満 ⑫ 明 ⑬ 日明(勘合) ⑭ 倭寇  
 ⑮ 勘合 ⑯ 銅銭 ⑰ 朝鮮 ⑱ ハングル ⑲ 琉球 ⑳ 中継 ㉑ アイヌ  
 ㉒ コシヤマイン ㉓ 二毛作 ㉔ 定期市 ㉕ 馬借 ㉖ 問 ㉗ 土倉 ㉘ 座 ㉙ 町衆  
 ㉚ 惣 ㉛ 土一揆 ㉜ 借金 ㉝ 応仁 ㉞ 足利義政 ㉟ 下剋上 ㊱ 国一揆 ㊲ 一向一揆  
 ㊳ 戦国 ㊴ 城下 ㊵ 分国

【問題】(要点整理)

次の表中の①～⑭に適語を入れよ。

北山文化 東山文化	<p>( ① )文化：Aは足利( ② )が建てた( ③ )。                  公家の文化と( ④ )の文化が融合。                  ( ⑤ )文化：Bは足利( ⑥ )が建てた( ⑦ )，Cは( ⑧ )造。                  (④)をにない手とする気品のある文化</p> <p>A  B  C </p>
その他	<p>墨一色で自然などをえがく( ⑨ )画を( ⑩ )(人物名)が完成させる。                  「一寸法師」などの( ⑪ )と呼ばれる絵入りの物語が読まれる。                  猿楽を観阿弥・( ⑫ )父子が( ⑬ )として大成。(⑬)の合間に( ⑭ )が演じられた。</p>

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭		

[解答]① 北山 ② 義満 ③ 金閣 ④ 武家 ⑤ 東山 ⑥ 義政 ⑦ 銀閣 ⑧ 書院  
 ⑨ 水墨 ⑩ 雪舟 ⑪ 御伽草子 ⑫ 世阿弥 ⑬ 能 ⑭ 狂言

[問題](2 学期期末など)

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
1333 年	(ア)の新政がはじまる。…A
1335 年	(イ)が兵をあげる。…B
1338 年	(イ)が征夷大將軍に任命される。…C 南北朝の動乱…D
1392 年	3代將軍の(ウ)が南北朝を統一する。…E
1404 年	(ウ)が中国との間で日明貿易を始める。

- (1) 年表中の A について、①アに適語を入れよ。②この政治を行った天皇の名前を答えよ。  
 ③この政治は 2 年で失敗に終わったが、それはなぜか。「貴族」「武士」という語句を使って簡潔に説明せよ。
- (2) 年表中の B について、①イに適語を入れよ。②これによって(1)の②の天皇は現在の奈良県のどこに逃れて南朝をたてたか。
- (3) 年表中の C について、①これによって開かれた幕府を何というか。②將軍の補佐役として置かれた役職は何か。③関東を支配するために地方機関としておかれた役所は何か。
- (4) 年表中の D について、①動乱が続いた 60 年間に何時代というか。②この時代に守護は何に成長したか。
- (5) 年表中の E のウに適語を入れよ。

[解答欄]

(1)①	②		
③			
(2)①	②	(3)①	②
③	(4)①	②	(5)

[解答](1)① 建武 ② 後醍醐天皇 ③ 武士の政治を否定し、貴族を重視する政策をとったため武士の不満が高まったから。 (2)① 足利尊氏 ② 吉野 (3)① 室町幕府 ② 管領 ③ 鎌倉府 (4)① 南北朝時代 ② 守護大名 (5) 足利義満

[問題](2 学期中間など)

右の地図を見て、次の各問いに答えよ。

- (1) A～C の国名を答えよ。
- (2) X は、海賊の経路を示している。この日本の海賊は、何と呼ばれていたか。
- (3) A の国が(2)の取りしまりを日本に求めたが、その見返りとして始まった貿易を何というか。
- (4) (3)の貿易を始めた室町幕府の将軍の名前を答えよ。
- (5) (3)の貿易では右図のような合い札が使われたが、この合い札を何というか。
- (6) (5)を使ったのはなぜか。理由を簡潔に書け。
- (7) (3)の貿易で日本が中国から輸入したものを次から 2 つ選べ。  
[ 銅銭 絹織物 銅 香辛料 ]
- (8) B の国でつくられた右図のような文字を何というか。
- (9) C の国が、明、日本、朝鮮、東南アジアを相手に行っていた貿易を何というか。
- (10)蝦夷地に古くからくらしていた人々は何民族か。
- (11)15 世紀半ばに、本州の和人の進出に圧迫を受けた(10)の人々が蜂起したが、そのときの(10)の指導者である首長は誰か。

14, 15 世紀ごろの東アジア



바 이 히 모

[解答欄]

(1)A	B	C	(2)
(3)	(4)	(5)	
(6)			
(7)	(8)	(9)	(10)
(11)			

[解答](1)A 明 B 朝鮮国 C 琉球王国 (2) 倭寇 (3) 日明貿易(勘合貿易) (4) 足利義満 (5) 勘合 (6) 正式な貿易船と倭寇を区別するため。 (7) 銅銭, 絹織物 (8) ハングル (9) 中継貿易 (10) アイヌ民族 (11) コシャマイン

[問題](前期期末など)

室町時代の産業などについて、次の各問いに答えよ。

- (1) 鎌倉時代から室町時代にかけて米の裏作に麦などを植える農業が広まったが、これを何というか。
- (2) 商人や手工業者が営業を独占するためにつくった、同業者の組合を何というか。
- (3) 幕府の保護を受け、金融業を営んでいた業者を2つ答えよ。
- (4) 馬の背に荷物を積んで運ぶ運送業者を何というか。
- (5) 運送業をかねた倉庫業者を何というか。
- (6) 交通の要地などで開かれるようになった市場を何というか。
- (7) (6)の市場などでの取引に使われた貨幣は何か。2つ答えよ。
- (8) 通行税をとるために幕府や寺社が交通の要所に設置したものを何というか。
- (9) 京都で自治組織をつくった有力な商工業者を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)
(9)			

[解答](1) 二毛作 (2) 座 (3) 土倉, 酒屋 (4) 馬借 (5) 問 (6) 定期市 (7) 宋銭, 明銭 (8) 関所 (9) 町衆

[問題](2 学期期末など)

次の年表について、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
1428 年	正長の( )…A
1467 年	8 代将軍の後継ぎ問題などから戦乱が始まる。…B
1485 年	山城の( )…C
1488 年	加賀の( )…D

- (1) 年表中の A について、①( )に適語を入れよ。②この一揆が求めたのは何か。「借金」という語句を使って簡潔に答えよ。③このころ、村ごとにつくられた自治的な組織を何というか。
- (2) 年表中の B について、①この戦乱を何というか。②何という将軍のあとつぎ問題をめぐって起こったか。
- (3) B の乱のあと、実力のある者が上の者に打ち勝つ風潮が広がっていった。この風潮を何というか。

- (4) 年表中の C の( )に適語を入れよ。  
 (5) 年表中の D の( )に適語を入れよ。  
 (6) B の乱後、①100 年間続いた戦乱の時代を何というか。②この時代に実力でのしあがってきた大名を何というか。③②の大名が、領国支配のために定めた法律を何というか。  
 ④②の大名が自分の城の周囲に家臣や商工業者を集めて発達させた町を何というか。

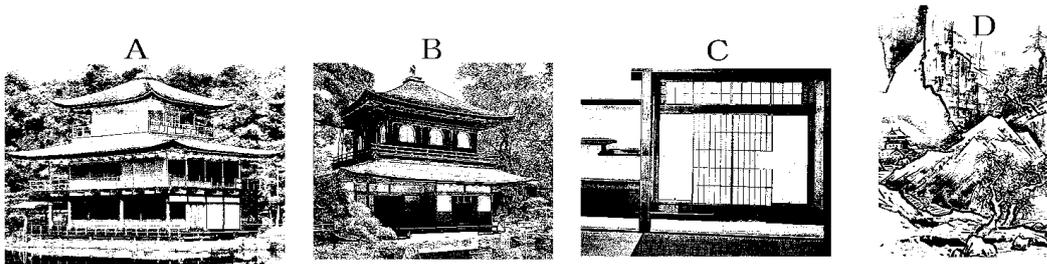
【解答欄】

(1)①	②	③	(2)①
②	(3)	(4)	(5)
(6)①	②	③	④

【解答】(1)① 土一揆 ② 借金の帳消し ③ 惣 (2)① 応仁の乱 ② 足利義政 (3) 下剋上  
 (4) 国一揆 (5) 一向一揆 (6)① 戦国時代 ② 戦国大名 ③ 分国法 ④ 城下町

【問題】(2 学期期末など)

次の資料を見て、後の各問いに答えよ。



- (1) 資料 A の建物を何というか。  
 (2) 資料 A の建物をつくった将軍は誰か。  
 (3) (2)のころの公家の文化と武家の文化が融合した文化を何というか。  
 (4) 猿楽は、(2)の保護を受けた観阿弥・( ① )親子によって( ② )として大成された。  
 (2)の合間に( ③ )が演じられた。①～③に適語を入れよ。  
 (5) 資料 B の建物を何というか。  
 (6) 資料 B の建物をつくった将軍は誰か。  
 (7) 資料 C は B と同じ敷地内にある建物の部屋である。このような建築様式を何というか。  
 (8) (6)のころの武家をにない手とする簡素で気品のある文化を何というか。  
 (9) 資料 D について、墨一色でえがく絵画を何というか。  
 (10) D の作者で(9)を大成した人物を答えよ。  
 (11) 「一寸法師」や「浦島太郎」など、絵入りの物語を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)①
②	③	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)	(10)
(11)			

[解答](1) 金閣 (2) 足利義満 (3) 北山文化 (4)① 世阿弥 ② 能 ③ 狂言 (5) 銀閣  
(6) 足利義政 (7) 書院造 (8) 東山文化 (9) 水墨画 (10) 雪舟 (11) 御伽草子

## 【FdData 中間期末製品版のご案内】

詳細は、[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

### ◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 中間期末を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

### ◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の 90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受けた今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

### ◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、印刷はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

### ◆FdData 中間期末製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[社会地理](#)、[社会歴史](#)、[社会公民](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

[理科 1 年](#)、[理科 2 年](#)、[理科 3 年](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

[数学 1 年](#)、[数学 2 年](#)、[数学 3 年](#)：各 7,800 円(統合版は 18,900 円) ([Shift]+左クリック)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール([info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com))、または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#)、[注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : [info2@fdtext.com](mailto:info2@fdtext.com) Tel : 092-811-0960